

自己評価総括書

令和5年1月10日
尾道市立高西中学校

1 ミッション

「中学校区で取り組む『志プロジェクト』」の推進

2 ビジョン

高い志とふるさとに誇りを持ち「知りたい・学びたい・挑戦したい」があふれる学校

- 笑顔・感動・夢のある生徒（生徒）
- 安全で、安心して任せられる学校（学校）
- ふるさと学習、キャリア教育を推進する学校（地域）
- 教職員がやりがいを持って活動している学校（教職員）

3 重点課題における成果と課題

①授業改善のカリマネの推進→学力の向上

○校内研修を毎月実施し、研究通信や校内研修の中で振り返りを行うことで、研究を積み上げるとともに、教員間で日頃の実践を共有することができた。

○生徒の抱える困難さなど、実態把握を強化して、個別の支援が必要な生徒に対しての手立てを計画することができた。

●課題設定の方法や思考ツールの使用等、全体として共通意識をもつことが不十分だった。

②特別活動（集団づくり）のカリマネの推進→自己実現力の向上

○さまざまなロールモデルと出会う中で、自分の生き方を考える「いきなび」を2学期も2回実施し、生徒が自立的に自己実現するきっかけづくりができた。

●生徒の「なりたい自分」に近づくための支援やアドバイスをを行いながら、見直しをしていくことである。

○「学級力アンケート」において自分たちの決めた学級目標に立ち返りながら、課題解決に向けた「パワーアップアクション」を策定した。決めることが目的ではなく、決めたことをしっかりと実行していくことを意識して取り組むことができた。

③働き方改革のカリマネの推進→チーム力の向上

○中間面談並びに日々のコミュニケーションを通じて、学校経営の一翼を担う自覚を促した。また、その成果と課題を教職員一人一人と共有しながら、個々のモチベーションの向上及び職能成長を図った。

●2学期は、月に2回、金曜日を5時間授業とし、教職員の時間外勤務時間の削減を図ったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による学級閉鎖のため、授業時数確保の観点から、12月以降5時間授業はできなくなっている。

4 今後の取組の方向、改善策等

①自ら選択したり、自分なりの考えをもったりすることができる課題設定やその手立てを講じることを教員の共通認識として取り組んでいく。また、表現活動の場をさらに増やすことや、表現方法の工夫について、教員が共通意識を持ち、指導を継続・徹底していく。

②アンケートの数値だけでなく、自分たちの学級を本気でよりよくするために、生徒自身から自分たちの課題を発見し、改善していく営みを仕組んでいく。

③課題である「取組のスクラップ&ビルド」について、教職員のアイデアを積極的に活かしながら、業務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を生み出すことを通じて、教職員のやりがいにつなげていく。

